

ポイント  
**1**

# 問題解決に向け、本気で学ぶ



主権者として自らの生き方を問い続けながら、問題を解決できる子どもを育てます。

- ➔ 一目でわかる! 問題解決的な社会科の学習 …… 6
- ➔ 見開きごとに問題解決! 学習を積み重ねよう …… 10

## 1 問題を発見する



自分で問題を解決していくことができるんだね。

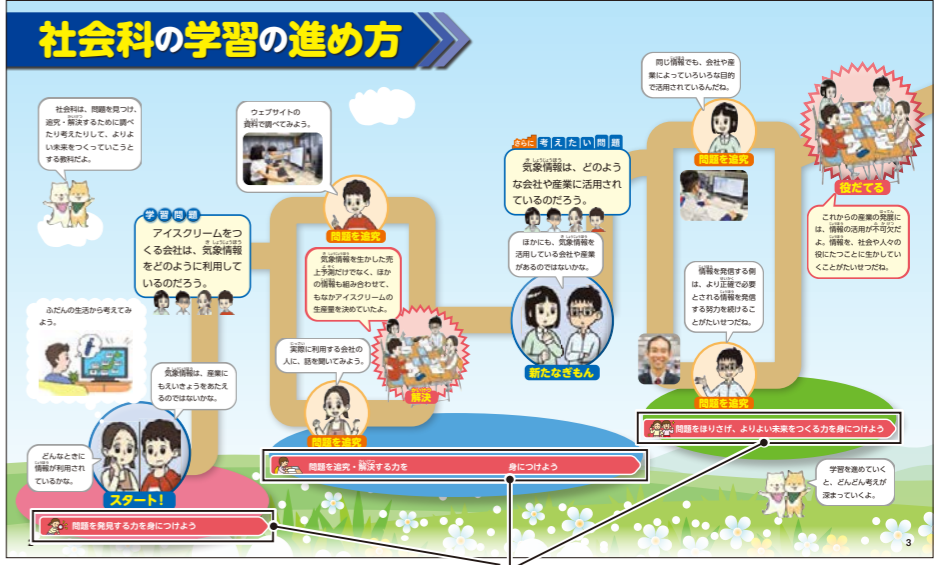
## 2 問題を追究・解決する



## 3 問題をほりさげ、未来に生かす



ここがイチオシ! 学習の進め方は、インデックスに注目!

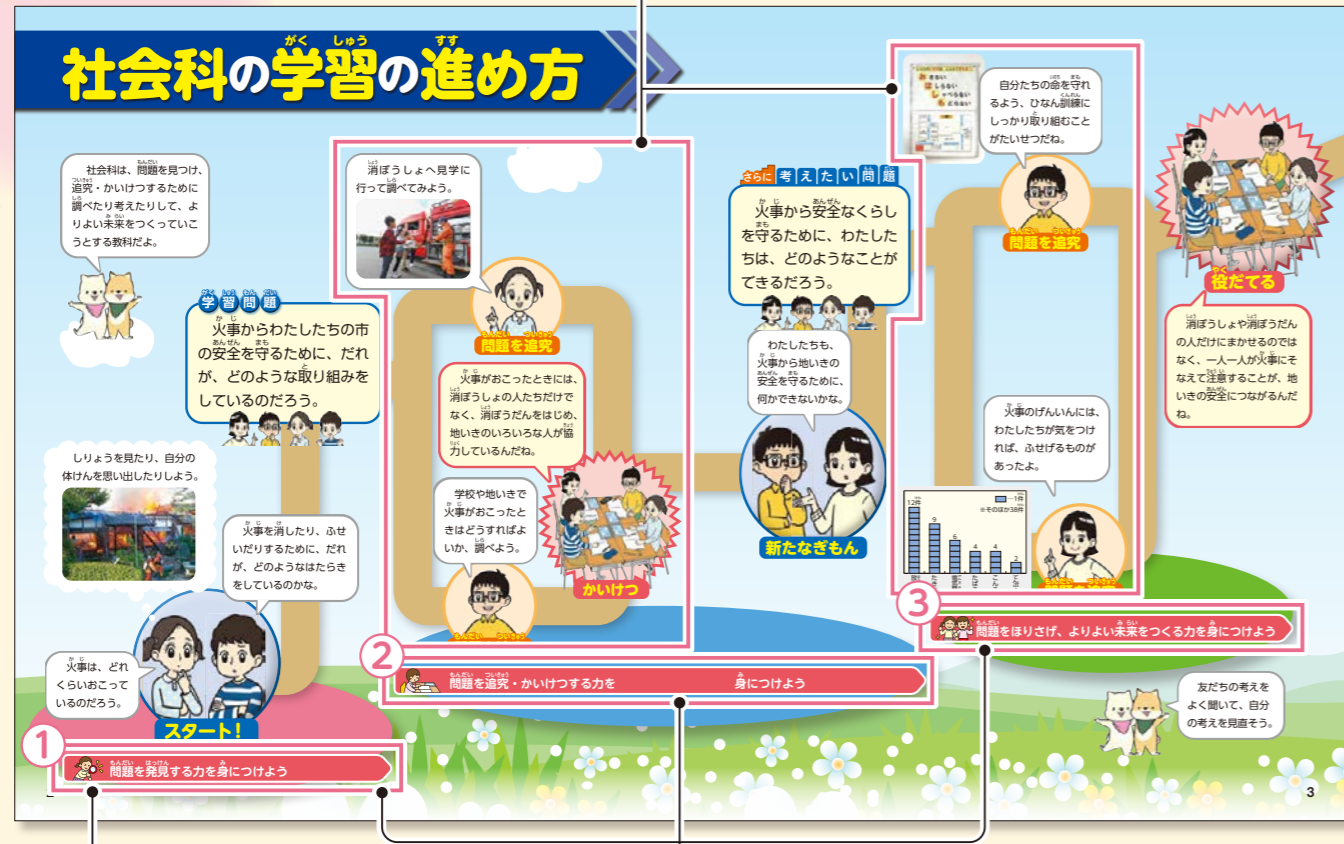


本文ページの下(脚注)に、このようなインデックスを設定しています。このページで身につけたい力がわかり、学習を見通して進めることができます。

# 一目でわかる! 問題解決的な社会科の学習

内容のまとめ(小单元)ごとに問題解決的な学習を展開できるようにくふうしています。

各小单元は、以下のように  
流れでつくられています!



本文ページにも設定しているインデックスを用いて、小单元の社会科の学習の進め方を紹介しています。社会科の学習の進め方を理解したうえで、見通しをもって学習のぞむことができます。

- ①問題を発見する力を身につけよう  
 ➡おもに、身のまわりのことや世の中のできごとなどから問題を見出す力を身につけるページ
- ②問題を追究・解決する力を身につけよう  
 ➡おもに、学習問題についてさまざまな方法で調べ、解決する力を身につけるページ
- ③問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう  
 ➡おもに、さらに考えたい問題についてほりさげて追究し、よりよい未来をつくるために何ができるか考え、社会に生かす力を身につけるページ

## 1 素朴な疑問から学習問題を発見するページ

子どもたちが素朴な疑問を出し合うなかで、学習問題をつかむようすを具体的に示しています。

**学習問題**

一人ひとりの疑問を出し合うなかで焦点化され、共有される、**みんなで追究したい問題(单元を貫く問題)**を学習問題として例示しています。

**学習問題**  
 わたしたちの暮らしを支える工業生産は、どこで、どのようにしておこなわれているのだろう。

**わたし(たち)の問題**  
 ➡詳しくは本冊p.10へ

**1 暮らしや産業を支える工業生産**

いろいろな工業製品 いろいろな工業製品を、①の資料をもとにして調べてみることにしました。

日本には、どのような工業があるのだろう。

**キーワード**  
 工業 原料や材料を、機械や道具を使って加工し、くらしに必要な製品をつくる産業のこと。

わたしたちの身のまわりには、食品や服、自動車、冷蔵庫など、たくさんの工業製品があるね。  
 今まで学習してきたくらしや産業のなかで、工業製品はたくさん使われていたんだね。  
 分類するときは、材料やつくり方、工業製品の使い方によって分ければいいのか。

**やっぴょ**  
 身のまわりの工業製品を分類するときには、下の図のような思考ツールを使って分類すると、わかりやすいよ。ためてみよう。

工業製品は、食品工業、せんい工業、金属工業、機械工業、化学工業などに分けられます。食品、せんい工業などを軽工業、金属、機械工業を重工業といいます。また、重工業と化学工業を合わせて重化学工業といいます。

わたしたちのくらしや産業は、たくさんの工業製品に支えられているんだね。日本では、どの工業がさかんなのか。

工業製品によって、材料やつくり方にちがいがたくさんありそうだね。

家の中にある小さな工場と、大きな工場は、何がちがいのかな。

日本は技術力が高いと聞くよ。機械をつくるのが得意なのではないかな。

**学習問題**  
 わたしたちの暮らしを支える工業生産は、どこで、どのようにしておこなわれているのだろう。

**学習の計画**

●調べたいこと  
 ・工業は、どのような場所でさかんなのか。  
 ・どの工業が、さかんなのか。  
 ・工場の大きさによってつくるものはちがうのか。

●調べ方  
 ・地図帳や資料集で調べる。  
 ・図書室の本やインターネットで調べる。

**学習の計画**

学習問題を解決するために、「調べたいこと」、「調べ方」、「まとめ方」などの見通しをもった学習計画を例示しています。

**学習の計画**

●調べたいこと  
 ・工業は、どのような場所でさかんなのか。  
 ・どの工業が、さかんなのか。  
 ・工場の大きさによってつくるものはちがうのか。

●調べ方  
 ・地図帳や資料集で調べる。  
 ・図書室の本やインターネットで調べる。

学習問題についての予想を出し合うようすを具体的に示しています。

## 2 学習問題を追究・解決するページ

資料などを用いて追究し、解決していくようすをわかりやすく示しています。

**水通水をつくるじょう水場** リこさんたちは、大阪府枚方市にある、村野じょう水場に見学へ行きました。

**じょう水場では、どのようにして川の水を飲み水に作りかえているのだろう。**

**水通水をつくるじょう水場** リこさんたちは、大阪府枚方市にある、村野じょう水場に見学へ行きました。

**村野じょう水場は、大阪府水通企業グループが運営しています。企業は、2010(平成22)年に、大阪府内の42の市町村が協力してつくられました。げんざい、大阪府をのぞく府内すべての市町村に水を送っています。**

**大阪府の市町村が協力して水をつくって送っているんだね。**

**りこさんたちは、じょう水場で働く坂本さんに話を聞きました。**

**じょう水場で働く坂本さんの話**  
じょう水場では、まず、川の水を取水口から取り入れ、たくさんの池を通して少しずつきれいにしていきます。川の水は、小さなよれなどもまぎって、そのままでは飲めません。何度もきれいに作業をくり返すことで、おいしい水ができます。ここでは、1日におよそ140万(学校のプール約4500分)の飲み水をつくっています。水は昼でも夜でも必要なので、交代しながら、24時間水をつくり続けています。

**じょう水場で働いている人は、どのような仕事をしているのかな。**

**次ページで追究**

4年 P.60-61

**学習問題**  
わたしたちが使う水は、どこから、どのように送られてくるのだろう。

**問題についてのわたしの考え**  
わたしたちが使う水は、川から取水されて、じょう水場できれいにされて、配水場、水道管を通して送られてきました。

**じょう水場では、たくさんの池などを使って水をきれいにしていきます。そして、わたしたちがいつでも水を飲めるように、24時間交代して仕事をしてくれています。わたしは、川からこんなにたくさんの水を送って家や学校まで水が送られているとは思わなかったのですね。おどろきました。じょう水場で働く人のおかたに、安心して水を使うことができるんだと思いました。**

**りこさんのノート**

**学習問題について考えをまとめよう**  
りこさんたちは、これまでの学習をふり返り、学習問題について自分が考えたことを、①や②のようにノートにまとめました。

**りこさんは、わかったこと、考えたことを分けて書いてわかりやすいね。**

**わたしは、水道管のことに注目して考えて、ノートにまとめました。**

**そのあと、自分の考えをもとにみんなで話し合いました。話し合いは、司会を決めてグループでおこないました。**

**今日わたしは司会をするよ。学習問題「わたしたちが使う水は、どこから、どのように送られてくるのだろう。」について、どう考えましたか。**

**りこ(物言)**  
水は、川から取り入れられて、じょう水場のしせつできれいにされて、水道管を通してわたしたちのところへ送られてきていたね。

**ひろと**  
まなさんの意見とわたしも同じ考えだよ。でも、いつでも水を飲めることは当たり前なことなのかな。

**れん**  
昔は川や井戸の水をくんでいたんだね。今はじょう水場できれいにしているから、今のほうが安全・安心だと思ったよ。

**りこ**  
水は、使いたいだけ使っているけど、だいじょうぶなのかな。

**ひろと**  
ひろとさんの意見を聞いて、地震で水が使えなくなった話を思い出したよ。

**わたしたちが、毎日水を使えるのは、当たり前なことなのだろうか。**

**話し合いのしかた**  
●調べてきたことをふり返りながら、水はどこから来るのかについて、自分の考えを発表する。  
●当人に断られて話すべきときは、前の人の意見を受けて話すのが、ちがうことを話すのを発表のしめじり。  
●話し合ううちに、さらにぎもん(疑問)が出てきた場合は、そのぎもんも発表する。

4年 P.64-65

学習問題について考えたことを話し合うなかで、学習問題をつくったときには出てこなかった疑問が出てきます。(囲みA)そして、そのより深く考えたい問題を「さらに考えたい問題」として例示しています。(囲みB)

学習問題についての自分の考えを表現したようすを例示しています。

## 3 さらに考えたい問題をほりさげ、よりよい未来をつくるページ

**水は、いつでもどこでも手に入るものなのだろうか。**

**毎日水を使えること** リこさんたちは、安全な水が使えなくなるとはならないか、調べてみることにしました。

**考えよう! SDGs**  
世界全体では、清潔な水に人が、安全な水を飲むことができません。清潔な水を飲むことは、SDGs(持続可能な開発目標)の目標6「安全な水とトイレを世界中に」です。

**2018(平成30)年におこった大坂北部地震のときに、水道管がこわれるなどの被害を受け、枚方市や高槻市など、多くの人が水を使えなくなりました。**

**また、枚方市で使っている水のみもともとある琵琶湖や、川の水がよごれてしまうと、取水することができなくなることもあります。**

**安全な水を使えることは、当たり前ではないんだね。**

**湖や川の水がよごれないように、何か取り組みはしていないかな。**

**4年 P.66**

「さらに考えたい問題」について、資料などを用いてほりさげて追究できるようにしています。

一つの学習問題だけでは追究できないような、一歩深まった二つ目の学習問題を自然に追究することができるのだね。



「さらに考えたい問題」について追究し、考えたことを話し合う協働的な学習のようす(「深め合い」活動)を漫画形式で例示しています。

**かけがえない水をたいせつに使うには、どうしたらよいのだろう。**

**カードにまとめる** リこさんたちは、「さらに考えたい問題」について、自分の考えをカードにまとめました。そして、聞くことをたいせつにした「深め合い」活動をしました。

**一人目の発表**  
**「もしも安全な水が手に入らなくなったら」**  
わたしは、水が使えないことを当たり前と思っているが、災害で水道が止まったときや、世界の水不足などの問題についても考えた。

**たしかめ・しつもん**  
水が使えないと、生活できないよ。りこさん、水が使えないあいだは、どのようにして水を用意していたのか、調べたのかな。

**ひろと**  
わたしは、水はちぎょうな資源であると思ったので、それを守るためには、自然をたいせつにすることが必要だと考え、カードにまとめました。

**二人目の発表**  
**「ちぎょうな水資源」**  
水は、形を変えながらじゅんかんしている。そのじゅんかんのバランスをこわさないように、湖や森林、川、海などの自然を守っていくことがたいせつだと思う。

**たしかめ・しつもん**  
自然をたいせつにする取り組みには、いろいろなものがあったけれど、ひろとさんのおすすめを聞かせてほしいな。

**しつもんへの答え**  
森林を守ることで、森林を守る取り組みは、水資源だけでなく、災害をおきにくくすることにもつながるからだよ。

**深め合い(二人の発表を聞いて)**  
**ひろと**  
ひろとさんのおすすめは、森林を守ることだったけれど、わたしは水をよこさない取り組みについて、もっと調べたかな。

**りこ**  
このあいだ、水道局の人が「節水」をよびかけていたよ。この機会に、水の使い方を発見してみよう。

**れん**  
りこさんのカードを見て、水が使えなくなったら、早く復旧できるように、いろいろな人が働いていると思ったよ。

**まな**  
みんなのカードを見ているうちに、水は、だれもが使える資源であるとともに、みんなが守らなければいけないものだったよ。

**感想**  
ここのときにも学習したけれど、ほかの地いきと協力関係を疑っているから、すぐに対応できなかったね。

**りこ**  
ほかの市町村などから給水車が出たり、応急の水道管を設置したりして、何とかすることができたみたいですよ。

**70**

4年 P.70-71

漫画にすることで、どのように意見を出し合い、深め合えばよいのかイメージしやすくしています。そして、考えの深まりや変容を読み取り、つかむことができます。

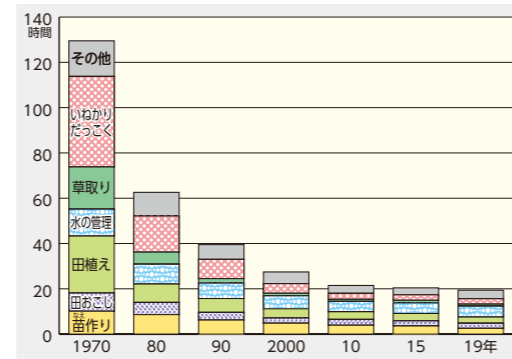
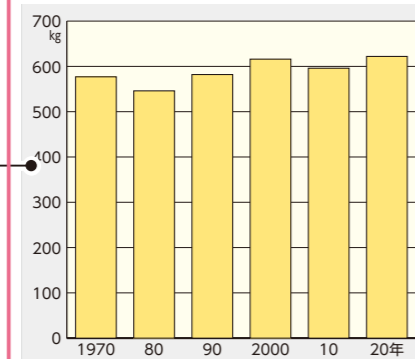
詳しくは本冊 18~19ページへ

# 見開きごとに問題解決！学習を積み重ねよう

基本的に1見開き1時間で授業を進めやすくしています。

1時間ごとに問題解決的な学習を展開できるようにくふうしています。

問題を発見したり、追究・解決したりするために必要な資料を、わかりやすく掲載しました。

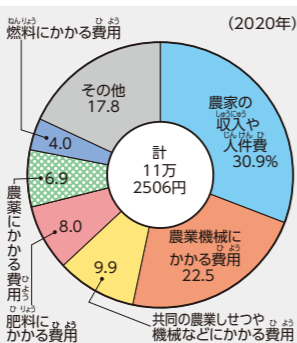


**図版の提示**  
追究を助けるよう、資料には図版番号をつけ、誰でも読み取りやすい色づかいにしました。  
詳しくは本冊 34～35ページへ

## わたし(たち)の問題

学習のはじめに生まれたり、学習を進めるなかで生まれたりした子どもの素朴な疑問などを示しています。

庄内平野では、どのようにして、米を大量に生産しているのだろう。



小単元のまとまりで見たときに、この見開きでどのような能力をつけることができるのかを、脚注インデックスで示しています。

**学習活動1** 機械化とほ場整備  
りこさんたちは、①と②のグラフを見て、読み取ったことを出しました。



いねかりやだっこく、田植えなどの作業時間が年々減っているね。



米の生産量が多くなると、耕作時間が長くなりそうなのに、短くなったのはなぜかな。

話し合いて、耕作時間の減少と生産量との関わりが気になり、五十嵐さんにたずねました。



### 米農家の五十嵐さんからのメール

65年ほど前から農作業で農業機械を使うようになりました。今では多くの作業で機械を使うようになり、農作業にかかる時間が短くなりました。

しかし、農業機械はねだんが高く、燃料代や修理代もかかるため、農家の負担が大きくなっています。

そこで、ほかの農家と共同で機械を買入れたり、収穫した米を共同でかわかしたりして、かかる費用を少なくするようにしている農家もいます。

## 問題発見

## 追究

**学習活動3** りこさんたちは、④の左と右の写真を比べて、どうして田の形や大きさをつくりかえているのかきもんに思い、調べました。

庄内平野では、60年ほど前からほ場整備がおこなわれてきました。ほ場整備をすると、田や農道が広がるので、大型の機械が使いやすくなります。また、用水路やはい水路もととのえられるため、川から遠くはなれた場所でも水が十分に使えるようになります。

そのあと、機械化やほ場整備で米作りにどのような変化があったのか、話し合いました。



ほ場整備をすると、どの田でも農作業がしやすいし、農業機械も使いやすいね。

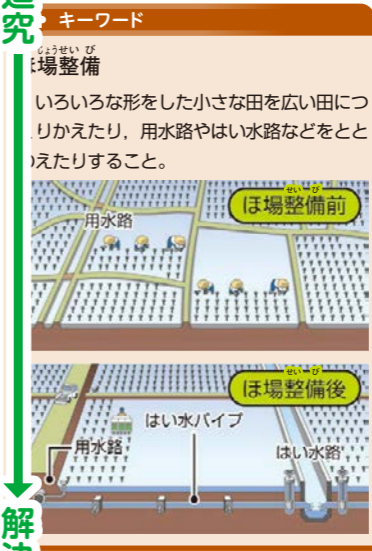


農業機械を使うことで、農作業の時間を減らすことができたんだね。

## 追究

## 解決

④ほ場整備前(左)とほ場整備後(右) (山形県鮭川村) 山形県では、小さい田30aの広さの長方形の田につくりかえ、ほ場整備を進めてきました。最近ですらに一つの田を1haの広さにする事も進められています。



二次元コードを設定しています。コードを読み取ると、動画やシミュレーション、ワークシートなどのコンテンツを利用でき、深く追究することができます。  
詳しくは本冊 26～29ページへ

学習活動の本文を読むと、見開きページでどのような活動をすればよいか、一目でわかります。  
詳しくは本冊 14～15ページへ

1時間の学習が、問題発見、追究、解決の流れになっています。

# 主体的・対話的で深い学びを実現する



子ども一人ひとりの“知りたい!”という思いをたいせつにし、みんなとともに考える子どもを育てます。

- 読み取りやすい本文で学習活動をサポート……………14
- “生きて働く”知識と技能を多様な視点から育てる……………16
- ひとり⇔みんな 耳を傾け合う「深め合い」活動……………18

深く知ることができるようになるには考えることが大事なんだ。



## 自分の考えを深めることをめざします



## 話し合うことが楽しい学習をめざします



みんなどんな話し合いをしているのかな。

ここがイチオシ!

## 協働的な学びを「深め合い」活動として紙面化!

深め合い

ひろさんと、りこさんの感想を聞いて考えが変わってきたよ。

おたがいの<sup>じんけん</sup>人権を尊重してこそその国民<sup>しゅけん</sup>主権だと思うし、基本的人権<sup>じんけん</sup>をたいせつにすれば、戦争をすることもないものね。

ゆあ

りこ

でも、基本的人権<sup>じんけん</sup>が、十分に守られていない問題もあったよね。国民<sup>しゅけん</sup>主権や平和主義にも、同じような問題があるんじゃないかな。

けんぽう 憲法の考え方を生かしていくためにも、問題を解決していく必要があるよね。

れん

ひろと



# 読み取りやすい本文で 学習活動をサポート

文章を正確に読み取れるように、本文を**三つの役割**に分けています。

↓子どもたちが、この見開きでどんな学習をするのか、よくわかります。また、教師にも、どのように学習を進めていけばよいか、わかりやすい構成となっています。

## なぜ本文を三つに分けたの？

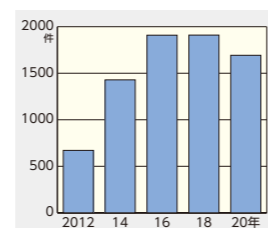
最近、長文の読解能力の低下が問題になっています。そこで、どこに何が書かれているかすぐわかり、正確に読み取れるよう、文章を三つに分け、学習活動をサポートします。



① ①見つけてみよう、やさしいところ、気になるところ

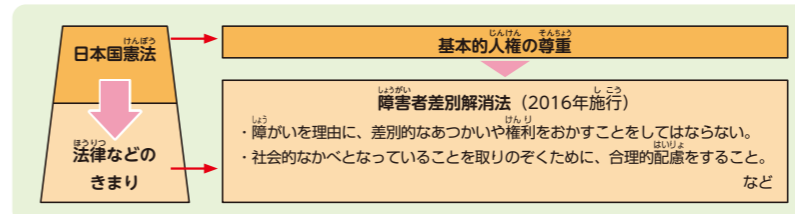
**?** 人権に関する問題は、どのように解決していけばいいのだろう。

**①** **人権に関する問題への取り組み** ひろとさんたちは、人権についての情報を提供したり、学習や交流の場としての役割をはたしたりしている、福岡市の人権啓発センターで話を聞くことにしました。



② SNSやインターネット上で人権がおかされた問題の件数 (2021年 法務省資料)

**②** **人権啓発センターの人の話** わたしたちの身のまわりには、資料①のように、障がい者や女性、高齢者、子ども、外国人などの人権に関するさまざまな問題があります。インターネットやSNSの利用についても、本来なら便利で生活に役立つものですが、人権がおかされる問題がおきています。人権啓発センターでは、一人一人の人権が尊重されるように、国が作った法律などにもとづいて、市民からの相談に応じたり、広報誌などで啓発活動をおこなったりしています。



③ 日本国憲法と法律の関係 障害者差別解消法を例としています。

**①** 国は、人権がおかされる問題を解決するために、みんなが守るべききまりとなる、さまざまな法律をつくっています。たとえば、障がい者の差別に関する法律の一つに、障害者差別解消法があります。この法律は、障がいを理由にした差別的なあつかいや、権利をおかすことを禁止しています。福岡市では、この法律にもとづいて、企業や学校など、社会のあらゆる場面でも、人権保護に関する情報を提供したり、指導や助言などをおこなったりしています。このような法律を話し合っついたり、法律にもとづいて基本的人権を尊重する社会をつくったりしていくことは、政治のたいせつな役割なのです。

**②** **キーワード**

**法律**

社会の秩序を守り、国民の生活を豊かにするために、国が定めたきまりです。



④ だれもが使いやすい地下鉄の施設 (福岡市)

**①** ひろとさんたちは、調べたことをもとに、基本的人権について考えたことを、話し合うことにしました。

**③**

**ひろと** おたがいの権利を尊重し、ともに理解し合うことで、差別のない社会をつくるのがたいせつだね。

**りこ** 基本的人権の尊重は、憲法の前文にあった国民主権と関係しているのではないかな。

**やってみよう**

障害者差別解消法のほかに、人権を守るための、どんな取り組みがあるか調べてみよう。

何が書いてあるかわかりやすいね。



## ① 学習活動(技能を伴う活動)

どのような学習活動をするのか書かれています。授業の展開や流れをつかむことができます。

詳しくは本冊 10~11ページへ

## 〇〇さんの話

「〇〇さんの話」では、さまざまな人たちの話を取り上げることで、より実感をもって学習内容に共感できるようにしました。このほかに、直接働く人に話を聞く、メールや手紙でたずねるなど、多様な調べ方の形態も提示しました。

## ② 学習内容(知識の内容)

写真や地図、グラフなどと同じように、疑問を解決するために必要な資料の内容が書かれています。

## ③ 友だちの発言(思考力・判断力・表現力等を活用した話し合い)

友だちのわかったこと「!」や疑問に思ったこと「?」が書かれています。教科書を読む子どもたちが、調べたり考えたりするきっかけをつかんだり、自分の考えと比較したりすることができます。

# 知識と技能を多様な視点から育てる

## 「見方・考え方コーナー」の充実

社会的な見方・考え方をはぐくみます。

### 社会的な見方・考え方とは……？

「視点や方法(考え方)」のことであり、特に小学校社会科では、「位置や空間的な広がり」「時期や時間の経過」「事象や人々の相互関係」が「視点(見方)」にあたり、「比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連づけたりすること」が「方法(考え方)」にあたります。

#### 空間の視点

**見方・考え方** **空間**

ぜんぽうこうえんぶん  
前方後円墳の分布図  
を見て、古墳がある地  
域となない地域に着目し  
て、ちがいを調べよう。

6年 P.81

#### 時間の視点

**見方・考え方** **時間**

生活の変化に着目して、  
それぞれの時代のように  
調べよう。

6年 P.75

#### 関係の視点

**見方・考え方** **関係**

日本国憲法の三つの  
原則について、自分たち  
の生活との関連に着目し  
て考えよう。

6年 P.30

## 調査や表現活動、読み取りをサポートする各コーナー

見学や観察などの仕方や、資料の読み取りをサポートするコーナーなどを設定し、知識及び技能を確実に習得できるようにしました。

### 学び方・調べ方コーナー

「学び方・調べ方コーナー」を、発達の段階に応じてより充実させ、観察力・資料活用力や表現力の基礎を身につけられるようにしました。

学び方・調べ方コーナー  
**見る・調べる**

観察や調査に関わる学習技能を示しています。

学び方・調べ方コーナー  
**読み取る**

資料などの読み取りや活用に関わる学習技能を示しています。「確かめる」、「見つける」、「考える」の三つのステップで手順をわかりやすく示しました。

学び方・調べ方コーナー  
**表現する**

表現活動に関わる学習技能を示しています。

### やってみようコーナー

知識や学習技能を確実に習得できるよう、学習や生活の基盤となる知識をくり返し使ったり、地図帳で調べたり、作業をしたりすることを促します。

まなさんたちは、自分たちのノートにまとめた「区への提案」について、発表しました。

区は、いろいろな取り組みをして、待機児童を減らすことに成功していたよ。しかし、保育園を新しくつくと、そこで働く保育士などの人たちが必要になるね。

わたしは、保育士になりたい人が増えるといなどと思って、その仕事について、知ってもらう機会をつくる提案をしたいです。

待機児童の問題を学習したけれど、わたしは、自然災害の学習を思い出して、災害に対する提案をしてみたいな。

れんさんは、みんなとの話し合いのあと、次のように、ノートにまとめました。

学び方・調べ方コーナー  
**表現する**

提案のしかた

- 学習問題について考えたことをまとめる。
- 住民の願いや政治のはたらき、税金などについて、わたしの考えをまとめる。
- 身近な地域や自然災害などの問題について、わたしの提案をし、提案に改善するところがあれば、修正したり、追加したりする。

やってみよう

学習したことのほかにも、自分が提案したいテーマを選んでみよう。

れんさんのノート

○学習問題について考えたこと

- ・住民やいろいろな組織、人々が、その役割をはたしてこそ、待機児童の問題を解決することができた。
- 政治のはたらきについてわかったこと
- ・国や都道府県、市(区)町村の政治は、それぞれが深く関わり合っている。



○わたしの考え

- ・政治には、待機児童の問題のほかにも、いろいろな課題がある。国や都道府県、市(区)町村が直面している問題や課題について、もっと調べてみたい。
- ・4年生で学習した自然災害への対策について、予算など政治のはたらきが大きく関わっていると思う。

○わたしが考えた区への提案

- ・近年、日本各地では自然災害が多く発生しているのだから、ハザードマップだけでなく、バーチャル避難体験などができるシステムをつくってはどうか。
- ・避難訓練に参加していない人に参加してもらえるよう、参加すればすてきなバッジなどをプレゼントしてはどうか。

6年 P.45

**キーワード**

本文や資料に出てきた、その単元を学ぶうえで不可欠な社会科用語を解説しています。

**キーワード**

政策

国民や住民の願いを実現するために、議会などでの話し合いをもとにした、問題や課題を解決するための取り組みのことです。

今回は、子どもたちから出てきた見方・考え方を評価する内容を取り入れました。

⑤のグラフの共働き世帯の数は、ずっと増えているね。2000年ごろには、専業主婦世帯の数より多くなっているよ。

わたしの家でも、お父さんもお母さんも一日中働いていて、帰りはおそいよ。

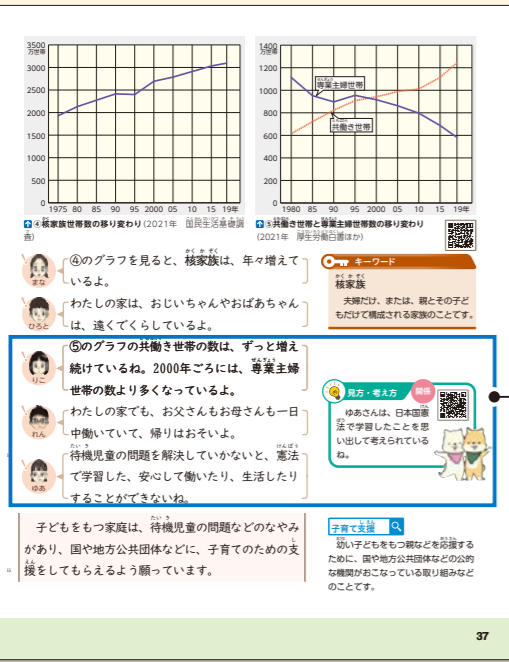
待機児童の問題を解決していかないと、憲法で学習した、安心して働いたり、生活したりすることができないね。

**見方・考え方** **関係**

ゆあさんは、日本国憲法で学習したことを思い出して考えられているね。

三つの視点からいろいろな知識を身につけるんだ。

友だちの考えを取り入れて考えられるようになるね。



6年 P.37

# ひとり⇔みんな 耳を傾け合う「深め合い」活動

協働的な  
学びを実現

ポイント2  
主体的・対話的で深い学びを実現する

「深め合い」活動は、子どもたちが互いに話し合い、聞き合うことで、多面的な思考や理解へと高め合っていく活動です。そうすることで、**主体的・対話的で深い学び**を実現します。

※「深め合い」活動は、学習指導要領で、選択・判断、もしくは多面的・多角的に考えることが求められている単元の「学習問題」の交流場面、または「さらに考えたい問題」の交流場面で設定しています。

## 「深め合い」活動のポイント

「深め合い」活動でいちばん重要なことは「聞く」ことです。友だちの発言を最後まで聞くことや、クラスの友だちみんなの声に耳を傾けること。これが、「深め合い」活動の基本となります。



実際の「深め合い」活動については、こちら！

### 一人目の発表

一人目の発表としてれんさんは、これまで学習したことをふまえ、自分の心に残っている内容を相手に伝えています。ただ、学習した内容を発表するだけでなく、なぜそのことがらを選んだのか、その理由をきちんと述べています。

### 確かめ・質問

れんさんの発表に対して、りこさんは、内容を確認したあと、さらに聞きたい内容を質問しています。

### 質問への答え

りこさんから質問を受けたれんさんは、自分の考えを深めながら、それに答えています。

### 感想

れんさんとりこさんのやり取りを聞いていたひろとさんは、れんさんの発表をふまえて、自分の感想を伝えています。

？ 日本国憲法と政治は、わたしたちのくらしとどのようにつながっているのだろう。

学び方・調べ方コーナー  
**表現する**  
「深め合い」の進め方  
●話し手は、発表資料をもとに、自分の考えを話す。  
●聞き手は、話し手の考えをしっかりと聞き、内容を確認したり、質問したりする。  
●話し手は、質問にこたえる。  
●聞き手は、話し手に感想を伝える。  
●聞き手と話し手を交代する。  
●おたがいに、はじめの自分の考えを見直し、クラスで深め合いをする。  
●このような方法で、はじめの考えを修正したり、確かなものにした後、新たに付け加えたりしていく。

見方・考え方 関係  
日本国憲法の三つの原則について、自分たちの生活との関連に着目して考えよう。

わたしたちのくらしとのつながり ひろとさんたちは、学習問題について、発表資料をタブレットでつくり、「深め合い」をしました。

一人目の発表

れん

わたしは、学習問題の答えを図と表にまとめてみたよ。

国会  
国民  
内閣  
裁判所

国民権  
基本的人権の尊重  
平和主義

①図と表にまとめた例

憲法の三つの原則のなかで、国民権と基本的人権の尊重が、わたしたちのくらしに最も深くつながっていると思う。

確かめ・質問

りこ

れんさんは、憲法の三つの原則が土台になって、国民を中心とした政治がおこなわれている、と考えたんだね。でも、どうして、国民権と基本的人権の尊重が、くらしに最も深くつながっているのかな。

質問への答え

れん

選挙や人権を尊重する取り組みなど、国民権と基本的人権につながることで多いから、そう考えたんだ。

感想

ひろと

それだけ、くらしのいろいろなところで、政治のたらしめが見られるということだね。

考えの深まり

二人目の発表

れん

わたしは、プレゼンのソフトを使ってまとめてみたよ。

国民権の政治  
日本国憲法の三つの原則  
学習問題  
日本国憲法と政治は、わたしたちのくらしとどのようにつながっているのだろう。  
答え

②プレゼンテーションにまとめた例

日本国憲法が定めている平和主義は、わたしたちだけでなく、世界の人々にとってもかかせないものだと思うよ。

確かめ・質問

れん

わたしと考えがちがうけど、なぜ、平和なくらしが最もたいせつだと考えたのかな。

質問への答え

ゆあ

憲法の前文に、平和主義について、くわしく書いてあったからです。

感想

ひろと

二人の考えは、人々の幸せなくらしを願っているという点では、同じだね。

りこ

どの原則か、という考え方はなく、三つの原則は、たがいにわり合っているのだと思うよ。

深め合い(二人の発表を聞いて)

ゆあ

りこ

ひろとさんと、りこさんの感想を聞いて考えが変わってきたよ。

れん

ひろと

でも、基本的人権が、十分に守られていない問題もあったよね。国民権や平和主義にも、同じような問題があるんじゃないかな。

憲法の考え方を生かしていくためにも、問題を解決していく必要があるよね。

深め合いを終えたひろとさんたちは、次に、どんな問題が話し合われているか調べ、考えたことをまとめることにしました。

さらに考えたい問題

憲法の考え方を生かしていくために、どんな問題が話し合われているのだろう。

## 深め合い(二人の発表を聞いて)

学年に応じた話し合い活動を通じて、すぐれた表現や異なる視点からの考えを比較したり、関連づけたり、総合したりすることで、多面的な思考や理解へと導くことができます。

### 二人目の発表

次に二人目の発表として、ゆあさんは、れんさんとは違った視点で発表しています。このときにも、その内容を選んだ理由について、述べています。

### 確かめ・質問

ゆあさんの発表について、れんさんは確かめをしつつ、さらにふみこんで質問しています。

### 質問への答え

れんさんの質問に答えながら、ゆあさんは自分の考えを深めています。

### 感想

ゆあさんとれんさんのやり取りを聞いていたひろとさんとりこさんは、それぞれの感想を伝えています。



ポイント

3

# SDGsを 自分ごととして考える



持続可能な社会の実現に向け、  
自ら考え、行動ができる子どもを育てます。

→SDGs×学習内容 考えることからはじめよう …… 22

→SDGsで未来を考え行動する学びを …… 24

自分に  
何が出来るかを  
考える力を  
つけるんだね。



ここが  
イチオシ!

貼ってはがせるSDGsの目標シールで楽しく取り組める!

全学年共通! 巻末特別付録



3年 ~ 6年 巻末付録



各学年の巻末に、SDGsの目標シールをご用意しました。  
総合的な学習などにも幅広く活用いただけます。

SDGsで**社会の諸課題**を  
多角的に捉えられる学び



**自らの意思決定**で  
未来を切り拓く学び



# SDGs × 学習内容 考えることから始めよう

## 「考えよう!SDGsコーナー」の新設

SDGsを通して、日本や世界で見られる諸課題への意識を高められるよう、コーナーを新設しました。各ページの学習内容に関連づけて、課題や解決するための取り組みを紹介しています。3~6年で合計32か所と、数多く設けています。

さらに、海洋ごみのことが気になっていたみなさんは、安井さんにくわしく聞いてみましょう。

**循環社会推進課の安井さんの話**  
海洋ごみの多くはプラスチックごみです。そこで、大分県では、プラスチックごみをリサイクルする取り組みに力を入れています。

ブラマークのついている「資源プラごみ」を分別してリサイクルすることで、もえるごみが増え、灰もへるため、うめ立て場が長く使えることにもつながります。市町村、会社や地いきの工場と協力して進めています。

このような取り組みを進めていますが、やほりたいせつなことは、一人一人がごみをへらすという意識をもつことです。

ごみをへらすための取り組みは、県や市、地いきの工場などが協力しながら進められているんだね。

大分県では、「おおいつつくし作戦」という取り組みもしているそうだよ。

ごみをへらすために、わたしたちができることはないかな。



**考えよう!SDGs**  
世界中で、多くの海洋ごみが見つかっています。日本では、海洋のプラスチックごみをへらすことを目的に、2020(令和2)年から、レジぶくろが有料化されました。海のゆたかさを守り、次の世代へ残すための取り組みがおこなわれています。



②「おおいつつくし作戦」のシンボルマーク 2016(平成28)年から、大分県で「おおいつつくし作戦」がはじまりました。まちづくり・ひとづくり・なかまづくりを柱として、かんきょう保全活動を通じて、地いきの活性化をめざしています。



③「おおいつつくし作戦」の活動のようす(天分県佐伯市) 地いきのごみ拾いを通じて、交流をおこなったり、かんきょう問題に関心をもつ人材を育成したりしています。



**考えよう!SDGs**  
世界中で、多くの海洋ごみが見つかっています。日本では、海洋のプラスチックごみをへらすことを目的に、2020(令和2)年から、レジぶくろが有料化されました。海のゆたかさを守り、次の世代へ残すための取り組みがおこなわれています。

子どもたちがSDGsについて具体的に調べたり、さまざまな視点から考えたりすることができます。

二次元コードからは、目標や事例をより深く捉えることができるワークシートへアクセスできます。

ごみ問題に取り組む 考えよう!SDGsコーナー(教科書P.46~47)	種	名前
世界中で、多くの海洋ごみが見つかっています。海がよごれたり、魚や生き物、わたしたちの生活にどのようなえいきょうがあるのか、考えてみましょう。		
●どんな目標があるの?		
14 海の資源を守り、たいせつに使う		
●今、どんなようすなの?		
・世界中で年間 800 万トンの海洋ごみ(東京スカイツリーおよそ 222 基分)が発生しており、2050 年には魚より海洋ごみの量が多くなると言われている。		
・ペットボトルやレジぶくろなど街で発生したごみが、海洋ごみの 8 割をしめている。		
・プラスチックごみやポリぶくろをえさとまちがえて食べてしまったり、あみにかまったりして、魚類だけでなく、ウミガメや海鳥、クジラなどがきずつき、死んでしまっている。		
・漁業や観光業に大きなえいきょうがあるだけでなく、船の運航をさまたげている。		
●ゆたかで美しい海を未来に引きつぐためには、一人一人のごみをへらす意識や行動がたいせつです。海のかんきょうを守るために、あなたや家の人が心がけていることに〇をつけましょう。		



学んだことと結びつけて、無理なくSDGsについて考えられそう!

## 身近な事例から考える



**考えよう!SDGs**  
3 すべての人に健康と福祉を  
世界では、毎年およそ135万人が交通事故でなくなっています。交通事故で命を落とす人をへらすため、それぞれの地いきでひつような取り組みがおこなわれています。たとえば、体が不自由な人や目が不自由な人のための信号のボタンをふやすことも、その一つです。

どんな人も安全にまちをいどうできるように、せつやせつびをくふうすることがたいせつです。



## 世界の課題へ視点を広げて考える



**考えよう!SDGs**  
6 安全な水とトイレを世界中に  
世界全体では、およそ4人に1人が、今も安全な飲み水を手に入れることができません。

健康なくらしをささえる安全な水やトイレを、だれもが利用できるようにすることが、求められています。



③ 川の水をくむ子ども(ウガンダ)

## 複数の目標から多角的に考える



**考えよう!SDGs**  
1 貧困をなくそう  
8 働きがいも経済成長も

世界の子どものおよそ10人に1人が、今も農園などで働いています。アフリカでは、チョコレートやココアの原料になるカカオのさいばいや収穫のために、学校に行けない子どももいます。外国から安く品物を輸入することで、相手の国がますます貧しくなってしまうことがあるのです。



④ 子どもが働いているようす(コートジボワール)

## 「考えよう!SDGsコーナー」取り扱い目標一覧

3~6年の4年間で、1~17のすべての目標を取り扱っています。各学年の発達の段階に合わせて、適切にコーナーを配置しています。

3年

4年

5年

6年

# SDGsで未来を考え行動 する学びを

子どもの  
社会参画を  
促します!

## 特設ページ「未来につながる～わたしたちのSDGs～」

各単元の問題意識や興味・関心から、子どもがSDGsの達成を自分ごととして考え、行動できるきっかけとなる教材を豊富に掲載しています。このページは、**子どもが主体的に取り組めるとも個別最適な学習**ができるよう、授業時数に含まれていません。

子どもが興味・関心をもった内容について、自分で追究を進められるような展開としています。

追究したことをまとめたり、どのような取り組みがしたいか自分ごととして考えたりする場面を設定しました。

このページは、児童が主体的に調べたいと思った内容をあつickingしているため、掲載時間を設定していません。

6年 P.104-105

さまざまな  
パターンがあります!  
子ども自身が追究を進める展開のほかに、読みもの資料として、取り組み事例を紹介するページも用意しています。自主学习などに、ぜひご活用ください。

このページは、児童が主体的に調べたいと思った内容をあつickingしているため、掲載時間を設定していません。

4年 P.78-79

## 特設ページ テーマ一覧

- 3年**
  - 市に昔からのこるたてものや自然を未来に受けつぐために (P.42-43)
  - 食べられずにすてられてしまう食品をへらすために (P.92-93)
  - まちをみんなで安全にしていけるために (P.126-127)
  - だれもが出かけやすいまちづくり (P.156-157)
- 4年**
  - 石川県に昔から受けつがれてきた産業 (P.28-29)
  - 多摩川の水を守るために (P.78-79)
  - 水害にそなえて自分たちにできることを考えよう (P.118-119)
  - 伝統を受けつぎ、未来につなぐ (P.168-169)
  - 高千穂郷・椎葉山の産業や自然を未来に残すために (P.202-203)
- 5年**
  - バイオマス産業都市「エネルギーと資源が循環するまち」～佐賀市の取り組み～ (P.66-67)
  - 限りある食料資源をたいせつにするために～横浜市の取り組み～ (P.134-135)
  - 工業生産のこれからのSDGsの問題～東広島市の取り組み～ (P.192-193)
  - 持続可能都市「スマートシティ」～宇都宮市の取り組み～ (P.236-237)
  - 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) (P.280-281)
- 6年**
  - 「彦根市子ども議会」で政治体験～よりよい市をつくりだすために～ (P.58-59)
  - 縄文時代の人々のちえをわたしたちの生活に生かす (P.104-105)
  - 歴史と文化がおりなすまち 古都鎌倉 (P.124-125)
  - 感染症とたたかい、人々の命を守った上杉鷹山と後藤新平 (P.164-165)
  - 日光の世界遺産を調べよう～伝統的な技術と保存活動～ (P.194-195)
  - 安心して、くらし続けられるまちづくりに向けて (P.230-231)
  - 地球上の「だれ一人取り残さない」ことの実現に向けて～自分にできること～ (P.272-273)

## 全学年共通! 巻末特別付録「SDGsの目標シール」

SDGsの目標シールは、学年の学習をふり返る巻末ページなどでも使えます!

詳しくは本冊32ページへ



SDGsの目標シールを貼るスペースを設けています。学習したことが、17の目標とどのように関係するのか、**自分の考えを深めたり、友だちと交流したりするきっかけづくりに最適です。**

3年～6年  
巻末付録